

# 橋梁補修補強工

## 柱状体圧入補強協会

〒102 0093東京都千代田区平河町2-1-1オリエンタル白石棟内  
TEL(03)3261 1206 FAX(03)3261 1139

電子メール info@prp.gr.jp

ホームページ <http://www.prp.gr.jp>

資料請求先 TEL(03)3261 1206 FAX(03)3261 1139

# Kui Taishin-SSP 工法

(NETIS 登録番号: KT 000101 V)



施工状況

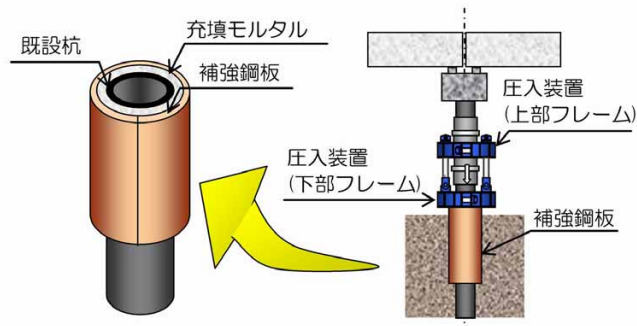


施工例 (橋脚耐震補強)

## 概要

## 工法概念図

Kui Taishin-SSP 工法は、パイルベント橋脚の耐震補強工法である。補強鋼板を圧入する反力を既設杭から得ることを特長としており、圧入に先立ち反力用鋼板の設置を行う。本工法は、平成11年度より独立行政法人土木研究所が実施している官民共同研究「既設基礎の耐震補強技術の開発」の一工法として研究・開発されたものである。



平成21年度準推奨技術 (新技術活用システム検討会議 (国土交通省))

## 特長

### 設計面

1. 補強開始位置を調節することで、補強開始位置より上方の橋脚部と、それより下方の基礎部を同時に補強することができる。
2. 塑性ヒンジ位置を地上部に設ける場合は、被災後の調査および補修補強を速やかに行うことができる。
3. 基礎部の有効径が増すことで、水平地盤抵抗の増加が期待できる。

### 施工面

1. 既設橋を供用しながら安全に耐震補強工事を実施することができる。
2. フーチングおよび大規模な仮締切りが不要で、経済性に優れている。
3. 狭い桁下空間でも施工性に優れている。
4. 施工中・施工後ともに河川阻害率を大きく変えない。
5. 補強後の景観を大きく変えない。

## 用途

道路橋、跨道橋、跨線橋、水管橋などのパイルベント橋、単柱式基礎、多柱式基礎など

杭径	φ300 ~ 1,500mm
杭種	鋼管杭、PC杭、RC杭、PHC杭
最小梁下空間	梁下より2.5m程度 確保できない場合は施工面の掘り下げ、簡易仮締切などにより対応
施工ヤード	陸上施工 最小70m <sup>2</sup> 程度 水上施工 設備を台船上に設け施工
土質条件	礫質土 (補強鋼板と既設杭の隙間以下の礫径) 砂質土、シルト、粘性土、有機質土 液状化地盤対応可能

## 会員

### 幹事会員

オリエンタル白石(株)/ショーボンド建設(株)/(株)ピーエス三菱/ライト工業(株) (4社)

### 一般会員

(株)あけぼの産業/(株)今川工務店/入交建設(株)/岩田地崎建設(株)/(株)大本組/三和建工(株)/(株)シーイー・クリエート/(株)タイコー技建/日特建設(株)/(株)不動テトラ/(株)プロテック/横河工事(株)/(株)吉田組/若築建設(株) (14社)

### 賛助会員

アイテックコンサルタント(株)/(株)トーメック (2社)